

NEWS & TOPICS

農業大学校便い

一般入試(二次)を実施します！！

3月17日(木)、一般試験(二次)が実施されます。
願書の受付は3月1日(火)から3月15日(火)です。

農業に興味のある高校生の皆さん、2年間の寮生活で新しい仲間の輪を広げ、農業の知識と技術を深めませんか。試験は作文、筆記試験(国語・数学・選択科目)、面接です。

果樹コース「じゃばら」の栽培の視察。



果樹コースは12月20日に北山村を訪れ、特産「じゃばら」の栽培状況を視察。花粉症等の効果から、近年生産が伸びているとのことでした。翌21日には三重県御浜町の奥西君の家を訪ね、中晩柑の施設栽培とその加工について見学することができました。

ウイークエンド農業塾が修了。



働きながら農業の初歩的な知識や技術を学べる農業塾(果樹コース)は5月からのべ10日にわたって実施してきましたが、今回が最終日。1月15日はみぞれ交いの中、カキの剪定。翌16日も寒風吹き付ける中、ミカンの剪定を学びました。その後、修了式が行われました。

農大・農業高校技術交流会

3回目となる技術交流会は「イチゴ栽培」について。1月21日県下の農業関連高校の先生方6人が来校。本校の阪口主任から県内のイチゴ栽培の概要説明があり、その後、校内の土耕栽培と高設栽培を見学しました。さらにかつらぎ町内のイチゴ農家を訪問。低コストで効率的な経営の実例を学習しました。



1年生は意見発表会。

12月8日に開催した1年生の意見発表会は、審査の結果、最優秀賞は森本淳子さんの「夢への第一歩」。優秀賞は山崎慎朗君の「夢をもらった農業」となりました。森本さんは滋賀県で開催される東海近畿ブロック大会に出場します。また、山崎君も県青年農業者大会で農大の代表として発表します。



細平所長の講評

PPでわかりやすく説明

研究成果を8分に集約、卒業論文発表会。



2年生にとって最大の難関、卒業論文の発表会を1月13日に開催しました。外部審査員にうめ研究所の細平所長と、経営支援課担い手育成班から岩尾班長を迎えました。審査の結果、最優秀賞に中西伸弥君の「トマトにおける側枝更新整枝法の実用性について」。優秀賞に西山和克君の「カーネーションの摘心方法と収量」。そして、優良賞に別院規之君の「紀ノ川柿の袋切り位置が品質に与える影響」が入賞。最後に細平所長から講評を頂きました。意見発表と同様、最優秀賞の中西君は東海近畿ブロック大会へ出場。活躍が期待されます。



発表後の質疑応答の状況も審査の対象です

「睦月」の実習風景



ペチュニアの播種、4月に出荷予定



イチゴの農薬散布。ハダニの防除

新年あけましておめでとうございます。厳しい寒さが農大周辺にも訪れ、付近の山々も雪化粧。この日、果樹はカキの剪定(写真右下)を行いました。野菜ではハダニの防除として、イチゴの農薬散布(写真右上)。花きではペチュニアの播種(写真左)。一粒ずつピンセットでセルトレイに並べていました。



日当たりや枝の密度などを考えて

和農市、初市、豚汁サービス！！



1月20日、今年最初の和農市を開催。厳しい寒波も遠ざかり、暖かい日差しを受けた今回は、初市にちなみ社会人課程の方々がお餅とイノシシ汁を準備。たくさんの来客に振る舞われて大好評。また、実習中の学生にも配られ、作業の手をとめて温かな食べ物に一息をつくことができました。

社会人課程修了生交流会。

農業大学校では園芸課程の他、就農を目指して職業訓練を行う社会人課程のコースがあります。6月から農業の知識や技術を学んできましたが、今月末の修了を迎えるにあたって、社会人課程の先輩や関係者を招いての交流会が開かれました。間近に迫った卒業を前に、就農への決意を新たにしたいと思えます。



第26号
平成23年
1月
発行
和歌山県
農業大学校

インドネシア研修生来校。



県内の農家へ研修に来ていたインドネシア研修生3名が1月14日に農大を訪問。本校学生と交流会を開催。その後校内の施設見学しました。



専修学校

和歌山県農業大学校

〒649-7112 和歌山県伊都郡かつらぎ町中飯降422
TEL 0736-22-2203 FAX 0736-22-7402
HPアドレス <http://www.ag-wakayama.ac.jp/>